

宮崎県内では、主にマダニに咬まれることによって感染する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の報告数が、全国で最も多くなっています。

## 重症熱性血小板減少症候群とは？

主にSFTSウイルスを持ったマダニに咬まれることによって感染する病気です。

潜伏期間は、6日間から2週間程度です。

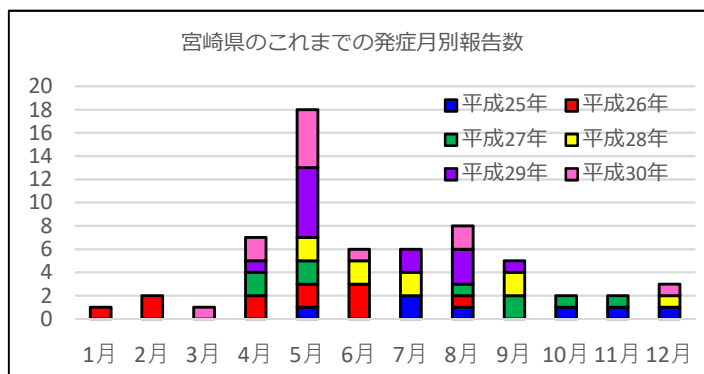
症状は、発熱、消化器症状(食欲不振、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)がみられ、時に頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状も出現します。

血液検査で、白血球や血小板の減少がみられることも特徴です。

## 宮崎県の発生状況



◎4月から9月にかけて多く発症しています。

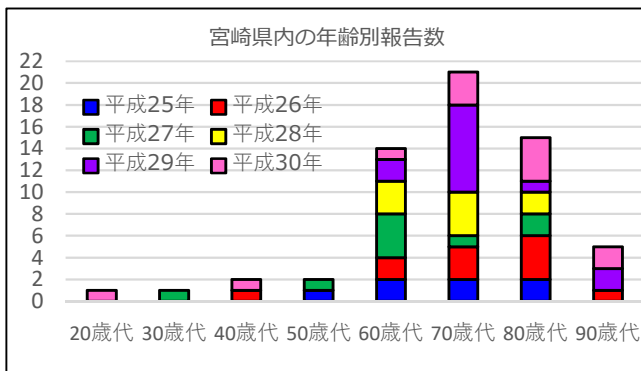


マダニは、春から秋にかけて活動が活発になるので、この時期の発症が多く報告されています。



◎60歳代から80歳代で多く報告されています。

宮崎県内では、これまで20歳代から90歳代までの報告がありますが、全国においては、小児の報告もみられています。



◎感染推定地は県北から県南まで幅広くなっています。



感染は、県北部から県南部まで幅広く起こっています。県内全域で注意をお願いします。患者さんからの聞き取りでは、農作業や山林作業での活動の他、庭仕事や散歩などでも感染が疑われる事例がありました。

SFTSと同じくマダニ等が媒介する感染症にはつつが虫病・日本紅斑熱などもあります。山や草地に入った後1~2週間は発熱などの体調に気を付けましょう。

身近な活動においても、感染予防対策は重要です。



<お問合せ先> 最寄りの保健所に御相談ください

中央保健所 : (0985) 28-2111	日南保健所 : (0987) 23-3141	都城保健所 : (0986) 23-4504	小林保健所 : (0984) 23-3118
高鍋保健所 : (0983) 22-1330	日向保健所 : (0982) 52-5101	延岡保健所 : (0982) 33-5373	高千穂保健所 : (0982) 72-2168
宮崎市保健所 : (0985) 29-5286	感染症対策室 : (0985) 44-2620		